

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀中央駅前ルネサスタワー	階数	地上26F 地下2F
建設地	横須賀市若松町三丁目24番1ほか3	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域・商業地	平均居住人員	977 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2013年7月18日
敷地面積	5,398 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社久米設計
建築面積	1,087 m <sup>2</sup>	確認日	2013年7月19日
延床面積	25,630 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社久米設計



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・敷地北側の参道に面して広場状空地や提供公園を配置し、建物居住者のみならず広く地域住民にも開放された自然環境を提供する計画とした。 ・住宅性能表示基準における劣化等級3を確保して躯体材料耐用年数への配慮を行い、断熱材にはノンフロンのもを採用することで、オゾン層破壊や地球温暖化に対し配慮した計画とした。		<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> ・天井裏・下地・仕上げ等、F の材料で施工することによりシックハウス対策に配慮した。 ・窓を大きくし、昼光を多く取り入れられるよう配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> ・住宅性能表示基準「3-1.劣化対策等級」において等級3とした。 ・制振ダンパー装置を導入し、地震時の安全性向上を図る計画とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・建物以外の部分に積極的に緑化を施すことで地表温度上昇の抑制を図り、樹木や庇・ピロティによる日陰空間を形成することで夏季における暑熱環境の緩和させ、敷地内温熱環境の向上へ寄与する計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> ・住宅性能表示基準「5-1.省エネルギー対策等級」において等級4とした。 ・潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)を採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・断熱材にはノンフロンのもを採用することで、オゾン層破壊や地球温暖化に対し配慮する計画とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・屋外照明に関して広告物照明は設置せず、適正な範囲で計画して外に漏れる光に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される